

北海道新幹線並行在来線住民説明会開催状況

11月29日（月）から町内5か所で開催いたしました住民説明会の状況をお知らせします。

【開催日時・会場・参加者】

開催日	時間	会場	参加人数
11月29日（月）	18時00分～	町民センターらぶちゃんホール	14名
11月30日（火）		昆布活性化センター	7名
12月2日（木）		目名地区生活改善センター	10名
12月6日（月）		介護予防拠点センターみなと	14名
12月8日（水）		名駒地区生活改善センター	6名

【主なご意見】

- ・貨物輸送や観光列車の運行なども収支予測で検討すべきではないか
- ・鉄道がなくなるのは寂しい
- ・町内の小・中学生も修学旅行等で鉄道を利用すべきではないか
- ・クラウドファンディングや外資の資金援助も検討するべき
- ・鉄道存続による巨額の赤字は、子どもや孫の世代に負担となる
- ・管内の農作物の輸送は、札幌から戻るトラックによる陸路が中心で、貨物を運行しても運ぶ荷物が少ない
- ・貨物輸送を行うことでさらに多額の改修費用が必要
- ・利便性が高まるので、稲穂峠の手前などにバスターミナルを整備してはどうか
- ・余市・小樽間のみ鉄道運行となった場合、バスから乗り換えるのが不便 など

【町と町民1人当たりの負担】

- ・参加者からのご質問を受け、町と町民1人当たりの負担額を町独自で算定しました。

区 間		初期投資	単年度収支	
			2030年度	2040年度
第三セクター鉄道 （長万部・小樽間）	収支予測	152.8億円	▲ 22.8億円	▲ 23.9億円
	町負担額	8.5億円	▲ 1.3億円	▲ 1.3億円
	1人当たり負担額	185.8千円	▲ 27.7千円	▲ 29.1千円
バス運行 （長万部・小樽間）	収支予測	22.1億円	▲ 0.7億円	▲ 1.0億円
	町負担額	1.2億円	▲ 0.0億円	▲ 0.1億円
	1人当たり負担額	26.9千円	▲ 0.9千円	▲ 1.2千円
第三セクター鉄道 ＋ バス運行	収支予測	61.8億円	▲ 5.4億円	▲ 6.0億円
	町負担額	3.4億円	▲ 0.3億円	▲ 0.3億円
	1人当たり負担額	75.2千円	▲ 6.6千円	▲ 7.3千円

※収支予測を道と沿線自治体1対1とし、得られた金額を均等に9市町で案分して町の負担額としています。また、町の負担額を令和2年国勢調査人口（4,568人）で案分して1人当たりの負担額としています。